Rotary District 2710

2015-16 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 | vol.11 2016.5

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2015-16年度
国際ロータリー第2710地区 ガバナー

東 良輝

GOVERNOR：Yoshiki Azuma
UBE WEST ROTARY CLUB

「ロータリーとかけて…」

今月は青少年奉仕月間ですが、最近、ビッグバンに関するアインシュタインの最後の宿題と言われていた「重力波」をアメリカの学者が観測したとの報道がありました。日本の学者は先を越され残念がっているかとの思いとは逆に素晴らしいことだと絶賛していました。やはりアインシュタインのこの宿題がいかに偉大なものであったか改めて感じた次第です。

そのアインシュタインについてニューヨーク・タイムス紙は「数学や物理だけなく人生そのものに飽くなき好奇心を持ち、その個性、ユーモアのセンスによって愛されてきた。彼の言葉を読むことで、新たなユニークな視点を持つことができる」と論評しています。

その「新たなユニークな視点」を感ずるために彼の言葉を少し取り出してみます。

○私たちは過去から学び、今日のために生き、未来に希望を持たなければなりません。

○物心両面において質素で気取らない生活が、誰にとっても望ましいと思います。

○小さい問題をなおざりにする人は、大きな問題を任せることはできません。

○人を動かす唯一の方法は、自ら模範を示すことです。

○相手の喜びと悲しみを感じ取って初めて他人への理解が深まります。

○人の真の価値は受け取ることではなく、与えることにあります。

○わたしたちは、人びとに奉仕するために最善を尽くさなければなりません。それこそが人間としての尊い責務です。

○人びとのためにだけ生きることが価値のある生き方です。

○教育者の最高の技術とは、若者に創造的表現と知識の喜びを発見させることです。

○勉強というものを、義務ではなく、生活に潤いを与え、将来、社会に出たときに恩恵をもたらす事柄を学ぶ素晴らしい機会だと考えましょう。

○文化の価値を大切にする人は、間違いなく平和主義者です。

（弓場隆訳 アインシュタインの言葉）より

まだまだありますが、いずれも何かロータリーの「奉仕の理想」と重なり合いませんか。それはそれぞれにご判断頂くとして、私が公式訪問で「ロータリーとかけて・・・」を宿題としていると述べたことを憶えて頂いているでしょうか。

ロータリーは、近年、求心力が弱まっているとも囁かれています。しかし私たちは「世界の永遠の平和」を勝ち取るまでは、手を抜くわけにはいきません。各クラブにおかれましては、将来のロータリアンを育てるといわれている青少年奉仕の重要性を再認識され、会員増強に力を入れて頂くよう改めて強く要望する次第です。

世界へのプレゼントになろう

CONTENTS

［ガバナー月信 2016年5月号］

ガバナーメッセージ …… 1
青少年奉仕月間によせて …… 2
2016-17年度PETS&地区チームセミナー報告… 2
G1 IM報告 …… 4
G6・7 合同IM報告 …… 4
G3 IM報告 …… 5
G2 IM報告 …… 5
G5 IM報告 …… 6
会員増減・出席率 …… 7
新会員紹介／物故者への哀悼 …… 8
文庫通信 …… 8

青少年奉仕月間によせて

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 パストガバナー　金子 信

現在の若者の多くは、自由、豊かさ、平和が、普段の水や空気のように、ごく自然にあるものと錯覚しているのではないか、と思えてしまいます。

また若者達は、IT機器を使いこなすメディア社会の氾濫の中で、内にこもって変な個人主義を身につけ、コミュニケーション能力を失い、社会生活上最も大切な協調性を無くしつつあるのではないでしょうか。

しかし『**いつの世においても子供は真っ白の形でこの世に生をうけている**』のであり、良くも悪しきも子供達の成長の全ては大人の責任であると自覚しなければなりません。

ところで今年度RI会長、K.R.ラビンドラン氏のテーマは『**世界へのプレゼントになろう**』です。

私は以前より『**人は環境を造り、環境は人を造る**』と言い続けてきました。私達ロータリアンが微力ながら、よい環境を青少年に積極的にプレゼントしようではありませんか。人間が成長する過程での人格形成は、祖先から伝わる遺伝子が大きく影響すると思われますが、それ以上に環境や境遇、教育、体験が影響すると思います。

現在、第2710地区の青少年奉仕プログラムとしてRIの常設プログラムでもある四つの全てのプログラムを実施しております。

①**青少年交換留学生**の実施、②**インターアクト**、③**ローターアクト**の支援、④**ライラ**の実施です。これらを推進するに当たり、私が感ずるに、現況は決して充分とは思われません。それは、ローターアクト運動の沈滞化であるし、加えて今日新たな課題として青少年奉仕部門に関しての危機管理等様々です。これらの対応を誤ればロータリー自身の責任が問われるからです。青少年へのプレゼントとして更なる御理解と御支援をお願い致します。

さて、今日の大きな社会問題の中で、子供が増えないこと一つとっても私達の世代は『**子供は宝**』だと、多くの兄弟、姉妹、でしたが現在は認識が変わってしまったようです。

現在、明治や大正生まれの人は少なくなり、更には昭和一桁の人も少なくなりつつあります。この世代の人は、軍国少年であったり、国家や公共のことを考えながら生きてきた世代でしょう。戦後の団塊世代以降の人は、米国からの新しい文化、民主主義により個を大切にし、家族を大切に考えて生きた世代でしょう。

戦後70年が経過し、昭和一桁生まれが少なくなると国家観が大きく変わってくることでしょう。私は本年が歳男の昭和19年生まれです。昭和一桁の先輩諸兄の知人との交流、又明治の父に育てられた者として、戦前の価値観と、戦後の価値観の橋渡し役になりたいと思っています。

今日の経済活動のグローバル化は、もう誰も止める事は出来ないところ迄来てしまったが、せめて民族としてのアイデンティティーは守っていきたいものです。だからと云って、**決して昔に返れ**と云っているのではありませんが…。

遺伝子革命やデジタル化等の新技術によって人間と自然の新しい関係が生まれる夜明けに今いるのだとしたら、両者を融合した、新たな希望がもてる社会の突破口があるのだと信じています。

おわりにどの世界おいても、リーダーになれるかは、自分の大切なものと時間を提供しなければ、と皆様も当然感じていらっしゃるでしょうが……。

当面の私は青少年奉仕カウンセラーの任務として、生粋のアナログ人間として、**新しく融合させたデジタル時代**を見守ることと、思うこの頃です。

2016-17年度PETS＆地区チームセミナー報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事　橋本 満

“春に三日の晴れ間なし”などと言われますが、気候変化が著しい3月6日(日) PETS＆地区チーム研修セミナーが、広島市南区ホテルグランヴィア広島で開催されました。

国際ロータリー第2710地区内のパストガバナー、ガバナー補佐を始め会長エレクト74名、地区委員会の責任者など総員197名が一堂に会し、セミナーが開催されました。今年のセミナーは新たに発足予定の「がん予防推進委員会」委員の皆様のご参加もいただきました。

午前10時に田原ガバナーエレクトの点鐘、国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」を全員で唱和の後、ご来賓及び地区役員の紹介、田原ガバナーエレクトの挨拶があり、次年度地区研修リーダー大之木 精二様からセミナーに当たってのご挨拶がありました。大之木様からは、セミナーの目的、クラブ会長として、クラブを強力にけん引していくこと、DLP、CLP、戦略計画の位置づけを明確にすること。また、ガバナー補佐には、体験してきた研修の成果を生かし、担当グループ内クラブに助言、調整力を発揮すること。などのご教授がありました。

ガバナー東 良輝様からは、次年度RI会長ジョン・ジャーム氏の掲げた「人類に奉仕するロータリー」について紹介があり、セミナーで得られた知識を生かし、より良いクラブ運営に努めるようにと諭されました。

次に、田原ガバナーエレクトから、2016-17年度RI会長テーマと地区運営方針の説明がありました。パワーポイントを使って「Rotary serving humanity」日本語訳「人類に奉仕するロータリー」並びに強調事項 ○会員増強と維持、○財団への寄付、○オンラインツールの利用、○新世代、○公共イメージ などの説明がありました。また、次年度ガバナー信条「奉仕の中にこそ(幸せ)と平和がある」の説明がありました。

田原ガバナーエレクトの掲げた「奉仕」は、ロータリーの目的である「職業奉仕」であり、その意図することは、二つあります。その一つは、職業奉仕の実践強化であり、もう一つは、がん予防の推進です。そして、次年度地区活動方針 1.永久にポリオを撲滅、2.ロータリーの行動規範を尊重、3.四つのテストの実践、4.ロータリーの戦略計画、5.会員維持・増強、6.がん予防の普及推進、7.ロータリーの公共イメージと認知度の向上、8.ヒロシマの平和に貢献 等が説明されました。

午前最後に基調講演として、姫路ロータリークラブ所属、パストガバナー三木 明様から「ロータリーの新しい情報・温故知新」のタイトルで講演がありました。ロータリーの歴史から始まり、ロータリーとは奉仕の人を造るところである。奉仕の心を磨くところである。すなわち倫理観を高めるところである。と力強く話され、例として喫煙場所の掃除をしたり、灰皿を置くのがロータリーではない。煙草の吸殻を捨てないような人を造るのがロータリーである。と分かり易いお話しでありました。

午後の部はテーマ別研修に入り、パストガバナー西村 栄時様から「ロータリーは職業奉仕」と題してご講演をいただき、次は、遠路お越しいただいた第2ゾーンポリオ撲滅コーディネーター坂本 俊雄様から「ポリオの現状とポリオとは」と題してご講演をいただきました。さらに、地区がん予防推進委員長 藤村 欣伍様から「がん予防の普及推進計画について」と題する講演がありました。次年度から新しく始まる事業であり、会長エレクトの皆様が熱心に聴講されていました。そしてテーマ別研修の最後として、第3ゾーン ロータリー財団地域コーディネーター 村上 有司様より「ロータリー財団の歴史と現状」と題してご講演をいただきました。

部門別研修に入り、会長エレクト部門では、田原エレクトから「クラブ会長の責務」の話があり、さらにがん予防推進委員の児玉様、広川様から「がんにならないために」「がん検診のすすめ」と題してご講演をいただきました。

地区チーム研修部門は、大之木次年度地区研修リーダーから「地区委員会の重要性」についてお話があり、5月の地区研修・協議会に向けての委員会別のディスカッションがありました。

続いて、合同本会議第二部に入り、次年度地区活動計画を、地区組織、地区主要日程、地区研修・協議会、公式訪問、会計予算、地区大会等について、それぞれの責任者から説明がありました。大之木様から、本日のセミナーは大成功であったとのまとめがあり、最後に田原ガバナーエレクトから謝辞あり、予定された行事を滞りなく終了しました。

合同懇親会も和気あいあいのうちに終わり、地区大会での再会を約束して帰路につきました。

国際ロータリー第2710地区グループ1 2015～16年度 インターシティミーティング報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ1ガバナー補佐　水野 直房

2016（平成28）年2月27日（土）午後2時から、下関東ロータリークラブをホストに、市内のシーモールパレスを会場として東良輝ガバナーをお迎えし、田原榮一ガバナーエレクト、田村泰三研修リーダーご臨席のもと、開催させていただきました。

先ず第1部は開会行事として点鐘からスタートし、国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」主宰者挨拶、来賓紹介、参加クラブ紹介、下関東クラブ山口会長歓迎の言葉から来賓を代表して、東ガバナーに御登壇いただき「ロータリアンの知識を深めるものとしてのIMである。会員各位の成果を挙げられたい」とのご挨拶に続いて、午後2時半から当初予定された内閣総理大臣安倍晋三令夫人昭恵様が公務のため、同夫人のご推挙を賜わり、「ジャパンハート」として海外医療、とりわけミャンマー奥地の貧しい人々や子供たちの救済のために、ご主人と共に身を挺して活動中の吉岡春菜ドクターに東京から御西下を仰ぎ、“子供達の将来に光を”をテーマに、持参された現地での実況と医療のDVDを15分、

引続いて同じくスライドを映写しつつ熱情あふるる御講演は、参加者全員の心を打ち胸を打つ、かけがえのない70分、感動の裡に流石に総理夫人の御人選と、未だかつて無い、まさにジャパンハートを射抜かれる感激そのものとなりました。万来の拍手ののち小憩。

午後4時からのパネルディスカッションは「いままでの、そしてこれからの国際奉仕」をテーマに、グループ1の7クラブから1名ずつエキスパートに御登壇願い、下関東クラブで最も若い吉田悟コーディネーターの進行で、虹の如くまさに7人7色の議論に湧き、海外指向の下関ならではの充実したものとなりました。引続き閉会行事に入り、東ガバナーからは「下関らしいテーマであった」と、おほめの御所感をいただき、次年度ガバナー補佐の紹介と挨拶で点鐘。会場を移動して第2部懇親会に入るや、下関東クラブ井上副会長の開会挨拶。続いて田原ガバナーエレクトの発声で乾杯。梅光学院高校のブラスバンドも賑々しく歓談も進み、手に手つないで合唱。水野ガバナー補佐感謝のお礼言上で滞りなく終了いたしました。

グループ6、7 合同インターシティーミーティングを終えて

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区
グループ6ガバナー補佐　小川 嘉彦　グループ7ガバナー補佐　中村 哲朗

さる2月28日（日）に2015-16年度国際ロータリー第2710地区グループ6、7合同のインターシティーミーティングを開催いたしました。東ガバナーをはじめとするご来賓の皆様、また約600名のロータリアンの皆様にご参加頂き、熱心に基調講演やパネルディスカッションに耳を傾けて頂きました。

本年度のIMテーマは、広島のロータリアンが発信する「奉仕を通じて平和を」―被爆70年の節目によせて―といたしました。2月は国際ロータリーが定める〈平和と紛争予防／紛争解決月間〉であり、また本年は広島へ原子爆弾が投下されて70年となること、また誰しも毎年一つずつ年を重ねて行く中で、被爆体験・悲惨な戦争体験を次世代のロータリアンに伝えたいという気持を込めました。そしてロータリーの目的の一つである国際理解、親善、平和を継続的に推進して行く為に、我々ロータリアンはどのような行動を具体的にする必要があるのかを基調講演およびパネルディスカッションを通じて勉強いたしました。

基調講演Part1では、2012-13年度国際ロータリー会長をされた田中作次様にお願いしました。田中元RI会長様は、その年度のRIテーマに「奉仕を通じて平和を」を掲げられ、世界平和の実現に取り組む強い意志と行動を示されました。IMの講師として最適な方であると考えお願いしたところ、快くお引き受け頂きました。基調講演Part2は、広島市長・松井一實様にお願いいたしました。ご講演では、広島市が一貫して世界に訴えている核兵器の廃絶、平和首長会議、被爆の実相を伝える取り組みを語られ、国際組織であるロータリーに平和の実現をめざして強い期待を持っているとの発言がありました。

パネルディスカッションでは、田中作次様をはじめ、在広ロータリアンである田原榮一様（広島中央RC）、錦織亮雄様（広島東南RC）、浜井順三様（広島西RC）、久永洪様（広島北RC）からさまざまな視点・体験・研究から内容豊富なご意見を頂き、有意義なパネルディスカッションとなりました。5名の方々に厚くお礼申し上げます。

会議終了後の懇親会にも多くの会員の皆様に参加頂き、クラブの垣根を超えた親睦を深めて頂いたのではないかと思っております。

グループ3 IM「支え、繋げる明日へ」報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ3ガバナー補佐　藤田 育夫

さる3月5日（土）にグループ3のIMを、ホストクラブ山口県央RCの例会場である山口グランドホテルにて行いました。参加クラブは、防府RC、防府南RC、防府北RC、山口RC、山口南RC、山口県央RC、以上6クラブ総会員242名全員登録のもと、東良輝ガバナー、南園義一RI元理事、新田薫パストガバナー、礒野晶則次年度G3ガバナー補佐を来賓に迎え、そして田村泰三パストガバナーにお越し頂き開催いたしました。IMのテーマを「支え、繋がる明日へ」とし、次世代の明るい未来の為に、私達は今どんな奉仕活動をしたら良いのかを考える時間とさせて頂きました。

第1部基調講演は地元山口市小郡の（福）防府海北園 母子生活支援施設 沙羅の木の施設長、岩城克枝様に「母子生活支援施設の役割と現況 ～未来の子供達の為に」という演題でお話し頂きました。主に夫によるDVで危険な状態にある母子を保護し、二度と接触出来ない様にし、加えて自立して子育てが出来る様に助ける、という施設です。負の連鎖を断ち切り、子供達の明るい未来への道標となる支援を考えてみました。

第2部基調講演はRI第3360地区チェンライRCパスト会長の原田義之様に「輝く瞳に会いに行こう～少数民族アカ族の現状」という演題でお話を頂きました。タイ北部の住むアカ族は自民族言語を持っている為、母国語タイ語の識字率が極めて低い為に中々職に就けない事、また焼畑農業の禁止から極貧生活を強いられている現状をお聞きし、アカ族の修学施設「夢の家」のお話を拝聴いたしました。こうした多くの少数民族に対し、私達はどんな持続可能な支援が出来るのかを考察いたしました。

フォーラムディスカッションでは、各クラブの会長様から「未来に繋がる奉仕活動の現状と問題点」と題して発表して頂きました。各クラブの地域性と特徴を生かされた活動を聞きました。様々なお話を聞いた事で視野が広がり、ロータリーならではの連帯感も抱く事が出来たかと思います。

懇親会では、ホストクラブの女性会員による歌謡ショウで盛り上がり、慈善鍋と合わせて多くの寄付金が集まりました。それらは基調講演を頂いたお二人に、未来を担う子供達の為に贈呈をさせて頂きました。

途中退席される方も殆ど無く、IMの目的である会員相互の親睦と知識を広め、奉仕の理想を勉強するという役割は果たせたかと存じます。

グループ2 IM報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ2ガバナー補佐　翁林 武雄

当地区グループ2の本年度インターシティー・ミーティングは3月12日（土）14時より宇部72アジススパホテルにおいて開催されました。IMにはできるだけ多くの皆さんに交流の場を共にしようと申し合わせて全員参加を呼びかけ、その結果出席者数156名となりました。

宇部東ロータリークラブ梅田芳直会長より、当クラブが宇部ロータリークラブと宇部西ロータリークラブをホストクラブとして今年で24年目を迎えた事等を交え歓迎の挨拶をし、引き続き来賓のご挨拶を東良輝ガバナーにお願いいたしました。

東ガバナーのお話の中で、ロータリアンとしての知識を深めること、そして親睦を深めることが最も重要であるということ、ロータリーの本質をしっかりと学んで欲しい、そして未来のロータリーの姿を確立する素晴らしい機会となり、ロータリーの今後の発展に役立つものと期待する旨の活動方針を熱く語っていただきました。

ご来賓に、ガバナー 東良輝様、地区代表幹事 兼広三朗様、パストガバナー 金子信様、パストガバナー 田村泰三様、次年度ガバナー補佐 田村充正様、そして特別講演の大阪大学大学院歯学部准教授野原幹司様にご出席いただきました。

本来はテーマを決めて講演者・アドバイザー・司会進行そして質問者を用意してのフォーラム形式が一番多い方法なのですが、出席者が150名以上にもなると一部の会員に偏りがちで出席者全員の参加型になりにくい、そのため今回は特別講演については演題を「口から始める健康講座」生涯食事を楽しむためとし、摂食・栄養障害・言語障害・睡眠時無呼吸症等を巧妙な話術で難しい話を分かりやすく楽しく理解させて話していただきました。

休憩の後、2部としてスポンサークラブより各1名の事例発表をお願いいたしました。事例1、宇部RC財団委員長 猪熊哲彦様より我がクラブの地区補助金への取り組みについてと題して取り組み方についてのお話をいただきました。引き続き、事例2として宇部西RC会長・地区財団委員 松本治彦様より地区補助金とグローバル補助金への挑戦についてと題して事例の発表がなされました。

休憩の後、閉会行事に入りまずガバナー所感をガバナー東良輝様より地区補助金そしてグローバル補助金が各クラブにとって重要になってくるため、各クラブの取り組みに大いに期待をする、またグループ2のロータリアンとしての皆さまの今後益々のご健勝とご活躍を祈念すると所感をいただきました。引き続き次年度IM開催クラブ萩ロータリークラブ次年度ガバナー補佐 田村充正様よりご案内の言葉があり閉会とし、次の懇親会会場へと移動いたしました。

懇親会では深町宏サックスプレーヤーとピアノ演奏を楽しみながらアジススパホテル自慢の美味しい食事とお酒で親睦を深めていただきました。参加者の雰囲気を盛り上げるために途中より余興として、ガバナー補佐の私自身が女装（芸者風）になり会場を沸かせる場面もあり、苦労もありましたが皆さんの喜ぶ姿を目の当たりにし安堵いたしました。大変和やかで実のあるIMであったように思います。

今後このIMがロータリー理解の一助となることを願い、ご参加いただきましたグループ2の7RCロータリアンの皆さまのご協力ご支援及び深い友情に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

3月13日開催 グループ5 IM報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ5ガバナー補佐　西本 守利

2015-2016年度 グループ5のインターシティーミーティングは3月13日（日）、岩国中央クラブの引き受けで柳井、柳井西、岩国、岩国西、岩国中央の5クラブ226名の登録、ご来賓として岩国市長 福田良彦様、岩国市教育委員会教育長 佐倉弘之甫様、東良輝ガバナー、藤中秀幸ガバナーノミニー、西村栄時パストガバナー、田村泰三パストガバナー 、藤本俊文前年度ガバナー補佐 、村上雅典次年度ガバナー補佐をお迎えして岩国国際観光ホテルにて開催されました。

開会セレモニーにおきましては、東ガバナーから地区大会の参加の御礼とIMの趣旨説明、そして本日のIMへの期待が述べられました。

基調講演は、特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長 生重幸恵氏による「変革するこれからの教育～人づくりと地方創生～」という演題で行われ、子どもたちの未来やコミュニティースクールの必要性について、放課後対策の総合的な推進について、大学入学者選抜改革について等々パフォーマンスを交え熱く語っていただきました。

続いてのパネルディスカッションは勝井博実行委員長がコーディネーター、そしてコメンテーターを佐倉弘之甫教育長、生重幸恵氏にお願いし「教育を通しての地方創生」をテーマとして行われました。岩国中央クラブの通津小学校における国際交流の取り組みについてのDVDを視聴した後、小野悟（柳井）、弘田裕子（柳井西）、中邑隆哉（岩国）、西伸二郎（岩国西）、冨津田孝麿（岩国中央）各氏により①教育について②地方創生について③教育と地方創生をどう結びつけるかについて意見を発表していただきましたが、様々な立場から様々な意見を聞くことができました。

閉会セレモニーにおいては、東ガバナーより教育には土曜日、日曜日はない、そして教育では本物を教えて欲しいと述べられ、基調講演・パネルディスカッション共素晴らしいものであったとの講評をいただきました。

お待ちかねの懇親会では、岩国行波の神舞保存会の神楽を鑑賞した後、藤中ガバナーノミニーの乾杯のご発声により宴がはじまり、ピアノ伴奏によるヴァイオリンの調べを聞きながら大いに親睦を深め、恒例の「手に手つないで」で締めくくりました。

国際ロータリー第2710地区 2015-16年度　74RCの会員増減・出席率　2016年 3月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%) 当月	出席率(%) 平均	会員数 年度初(7/1)	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減
グループ1	長　門	4	89.53	88.29	27	28	5	3	2	1
	下　関	3	80	82.12	47	49	1	5	3	2
	下関中央	4	80.83	84.24	29	31	6	2	0	2
	下関東	5	81.18	84.14	59	60	2	2	1	1
	下関北	4	89.47	91.64	42	43	0	2	1	1
	下関西	5	83.89	84.46	35	36	1	1	0	1
	油谷湾	4	85.71	91.35	7	7	0	0	0	0
計			84.37	86.61	246	254	15	15	7	8
グループ2	萩	4	98.1	96.22	55	57	0	5	3	2
	萩　東	5	100	100	20	21	1	2	1	1
	美　祢	4	80.17	81.08	23	23	0	1	1	0
	小野田	5	81.06	84.37	40	37	2	3	6	-3
	宇　部	4	95.31	94.14	46	47	3	4	3	1
	宇部東	4	75.8	69.35	14	14	2	0	0	0
	宇部西	4	88.39	91.08	52	55	3	4	1	3
計			88.4	88.03	250	254	11	19	15	4
グループ3	防　府	3	94.34	98.45	51	54	0	7	4	3
	防府北	3	100	86.6	18	19	2	1	0	1
	防府南	4	100	100	36	36	8	2	2	0
	山　口	4	96.88	93.93	52	52	4	3	3	0
	山口県央	5	97.76	95.88	37	34	1	0	3	-3
	山口南	3	97.5	92.02	41	42	4	2	1	1
計			97.75	94.48	235	237	19	15	13	2
グループ4	光	3	97.67	95.78	41	47	0	7	1	6
	周南西	4	95.03	96.43	47	45	3	2	4	-2
	徳　山	4	97.3	96.95	50	48	1	3	5	-2
	徳山ｾﾝﾄﾗﾙ	3	88.51	93.64	29	29	0	0	0	0
	徳山東	5	96.82	95.66	51	51	0	0	0	0
計			95.07	95.69	218	220	4	12	10	2
グループ5	岩　国	4	83.73	77.47	64	63	0	3	4	-1
	岩国中央	4	91	89.26	39	42	3	4	1	3
	岩国西	4	93.42	87.08	54	58	4	7	3	4
	柳　井	5	100	100	32	32	2	4	4	0
	柳井西	5	97.69	96.9	27	28	2	3	2	1
計			93.17	90.14	216	223	11	21	14	7
グループ6	広　島	4	99.18	99.62	115	124	1	18	9	9
	広島安芸	4	93.59	96.81	37	39	2	2	0	2
	広島安佐	4	89.59	93.6	21	24	1	3	0	3
	広島東	4	99	99.17	97	98	6	7	6	1
	広島北	4	100	100	85	85	0	5	5	0
	広島陵北	4	98	97.47	52	52	3	3	3	0
	大　竹	4	86.37	88.94	33	34	0	1	0	1
計			95.1	96.52	440	456	13	39	23	16

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%) 当月	出席率(%) 平均	会員数 年度初(7/1)	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減
グループ7	広島中央	3	100	100	74	74	7	2	2	0
	広島廿日市	3	88.89	88.45	35	36	1	1	0	1
	広島城南	3	100	99.1	57	56	2	2	3	-1
	広島南	4	99.53	99.67	88	90	0	7	5	2
	広島東南	3	100	100	90	94	11	5	1	4
	広島西南	4	100	100	62	65	4	4	1	3
	広島西	4	100	100	74	86	0	13	1	12
計			98.35	98.17	480	501	25	34	13	21
グループ8	江田島	4	90.28	88.65	16	18	1	4	2	2
	東広島	5	99.38	98.82	30	32	3	2	0	2
	東広島21	3	79.63	84.15	17	18	3	2	1	1
	呉	5	89.02	89.81	72	68	1	2	6	-4
	呉　東	5	92.26	95.22	31	31	0	2	2	0
	呉　南	4	94.44	92.24	54	57	3	3	0	3
	西　条	4	99.39	99.88	39	40	2	5	4	1
計			92.06	92.68	259	264	13	20	15	5
グループ9	広島空港	4	82.96	85.61	22	23	2	1	0	1
	因　島	4	96.05	87.48	21	20	0	0	1	-1
	三　原	4	93.03	90.06	63	61	1	0	2	-2
	尾　道	4	83.7	83.09	78	77	2	5	6	-1
	尾道東	5	89.49	91.06	51	51	0	0	0	0
	瀬戸田	4	87.5	87.5	7	7	0	0	0	0
	竹　原	4	91.26	90.55	37	34	4	2	5	-3
計			89.14	87.91	279	273	9	8	14	-6
グループ10	府　中	3	88	90.9	30	29	0	0	1	-1
	福　山	3	95.65	95.47	81	79	0	6	8	-2
	福山東	4	87.25	89.3	50	51	3	2	1	1
	福山丸之内	3	93.61	95.3	33	33	1	0	0	0
	鞆の浦	5	77.97	84.73	23	25	0	2	0	2
	福山REC2710	3	100	100	24	23	2	1	2	-1
計			90.41	92.62	241	240	6	11	12	-1
グループ11	福山赤坂	3	77.87	80.1	40	46	6	7	1	6
	福山北	4	93.18	91.21	48	46	0	1	3	-2
	福山南	4	88.35	86.95	58	59	2	3	2	1
	福山西	5	94.35	95.2	45	46	3	2	1	1
	松　永	3	83.67	89.83	51	52	2	1	0	1
計			87.48	88.66	242	249	13	14	7	7
グループ12	吉　舎	5	96.47	96.87	18	18	0	0	0	0
	三　次	5	86.18	85.94	41	42	0	3	2	1
	三次中央	3	85.38	90.74	42	41	5	2	3	-1
	庄　原	4	86.71	87.67	34	34	4	1	1	0
	東　城	5	89.52	91.71	21	21	1	0	0	0
計			88.85	90.59	156	156	10	6	6	0
第2710地区計			91.69	91.72	3262	3327	149	214	149	65

新会員紹介

宮嶋　直嘉
小野田RC
2016年3月2日
調剤薬局

荒巻　忠伸
小野田RC
2016年3月2日
電気事業

金子　法子
宇部RC
2016年3月24日
産婦人科

山本　拓治
広島安佐RC
2016年3月3日
美容業

龍山　永明
広島陵北RC
2016年3月2日
仏教

上田　恵
広島中央RC
2016年4月4日
事務代行業

大内 総一郎
広島中央RC
2016年4月4日
ガス供給

大田　由孝
広島中央RC
2016年4月4日
葬祭業

井上　修
広島城南RC
2016年3月11日
土地家屋調査士

佐々木 一暢
広島東南RC
2016年3月14日
保険代理業

小野　誠
広島西南RC
2016年3月1日
ホテル業

菅生　一郎
西条RC
2016年3月3日
コンビニエンスストアー

須田　芳之
西条RC
2016年3月3日
電気事業

占部　篤
鞆の浦RC
2016年3月15日
建築

中村　伸之
三次RC
2016年3月3日
衣料品販売

志々田　学
三次RC
2016年3月10日
電気事業

謹んで追悼の意を表します

防府RC
故 山根 節雄 殿
2016年3月25日ご逝去（享年89歳）

■ロータリー歴
1999-2000年度　会長（第43代）
2014-2015年度　地区表彰 米寿
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者（3回）

■職業分類
絵画

西条RC
故 土肥 浩右 殿
2016年3月27日ご逝去（享年82歳）

■ロータリー歴
2000-2001年度　RI第2710地区ガバナー
1993-1994年度　クラブ会長
その他の役職歴任
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（8回）
ベネファクター、米山功労者 20回（メジャードナー）

■職業分類
整形外科医

文庫通信 343号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

■ロータリアンの矜持

ロータリアンの矜持	藤川　享胤	2015	1p	（D.2800月信）
ロータリーの親睦	松田　泰長	2016	1p	（D.2790月信）
親睦の真意は	櫻木英一郎	2016	1p	（D.2790月信）
“そよ風に 稲田のかおり 山深し”（ロータリーに輝きを）	久野　　薫	2015	1p	（D.2680月信）
ロータリーのバッジはいいバッジである	塚原　房樹	2015	1p	（D.2510 月信）
いま求められる寛容の精神“Toleration”	塚原　房樹	2016	2p	（D.2510 月信）
続・国際ロータリーの変質	新藤　信之	2015	20p	
『クラブ戦略委員会に関するアンケート』回答要約	村橋　義晃	2016	2p	（D.2660月信）
ロータリー創立記念日に纏わる遊び種	神崎　正陳	2010	9p	

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL：（03）3433-6456　FAX：（03）3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館：午前10時～午後5時　休館：土・日・祝祭日

国際ロータリー 第2710地区 事務局
〒732-0822　広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL：082-506-0055　FAX：082-263-2323　E-mail：info@ri2710.com　URL：http://ri2710.com/